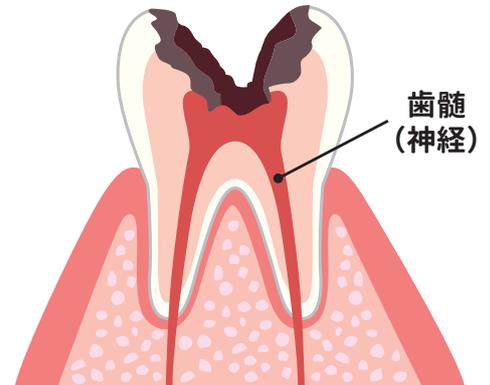


歯の**神経**を残すための治療

MTAセメント!



大きな虫歯ができてしまうと、冷たいものや熱いものがしみたり、痛みがでたりします。神経まで虫歯が到達してしまった場合、歯の神経を抜く治療（抜髄）が必要になる場合があります。私たちが歯の治療の時に神経と呼んでいるところは、実際は歯髄と呼ばれ、痛みや温度を感じる神経と、歯に酸素や栄養を供給する血管の役割を持っています。歯髄の治療（抜髄）を行うと、歯に栄養が送られなくなり、歯がもろくなって折れたり、割れたりするリスクが高まり、最悪の場合、抜歯になる可能性があります。



神経を守る スーパーヒーロー MTAセメント!

私たちの医院では、虫歯の治療の際に「**歯の神経をなるべく取らない治療**」を心がけています。歯は治療すると二度と元の状態に戻ることはありません。そこで、神経に近い大きな虫歯を治療する際に使用するのが「MTAセメント」です。MTAセメントは優れた封鎖性と高い殺菌力を持ち、口腔内の細菌による感染を防ぎ、健康な歯髄を残すことができます。また身体になじみが良く、歯にとって安心な材料なのです。



MTAセメントのメリット・デメリット

メリットその① 治療回数が減らせる

歯髄の構造は複雑で、従来の治療では約6～7回の来院が必要になりますが、MTAセメントを使用した場合は、約半分の来院回数で治療が完了します。



メリットその② 歯を削る量が最小限ですむ

歯髄の治療は歯の根の内部にまで及ぶため、歯を削る範囲が広く、最終的に大きな被せものが必要になりますが、MTAセメントを使用した場合は最小限のつめもので治療を完了することができます。

デメリットその① 再治療が必要になる場合がある

MTAセメントはすべての症例に対応できるわけではなく、稀に数カ月～数年後に再治療が必要になり、歯髄を残せない場合があります。

